

寝ずの番 (2006)

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 110分

初公開日 2006/04/08

公開情報 角川ヘラルド・ピクチャーズ

映倫 R-15

【キャッチコピー】

バチが当たるほど面白い！

【解説】

日本映画初期の巨人、マキノ省三監督を祖父に持ち、日本映画界のサラブレッドとして輝かしい俳優人生を送ってきた津川雅彦が、“マキノ雅彦”名義で満を持して挑んだ映画監督デビュー作。中島らもの同名短編を基に、豪華俳優陣の競演で贈る痛快艶笑喜劇。上方落語界の重鎮の通夜で繰り広げられる人間模様をユーモアとペースを交え綴る。

上方落語界の重鎮、笑満亭橋鶴がいよいよ臨終のときを迎えようとしていた。ところがそこで弟子たちはいかにも咄家らしい粗忽ぶりを発揮し、思いもよらぬひと騒動が巻き起こる――。ともあれ、こうして橋鶴師匠は亡くなり、お通夜の席には弟子はもとより、故人をしのんでゆかりの人々が続々訪れる。やがて思い出話に花が咲く。そして案の定、話の内容は次第に下のほうへと移っていき…。

【クレジット】

監督	マキノ雅彦	
製作	鈴木光	
企画	鈴木光	
プロデューサー	坂本忠久 林由恵	
原作	中島らも	『寝ずの番』（講談社刊）
脚本	大森寿美男	
撮影	北信康	
美術	小澤秀高	
衣装	宮本まさ江	
編集	田中慎二	
音楽	大谷幸	
音楽プロデューサー	長崎行男	
エンディングテーマ	A・cappellers A・cappellers	『Don't Worry, Be Happy』
照明	豊見山明長	
録音	阿部茂	
題字	緒形拳	
助監督	中西健二	
出演	中井貴一 木村佳乃	橋太 茂子

木下ほうか
田中章
土屋久美子
真由子
石田太郎
蛭子能収
桂三枝
笑福亭鶴瓶
浅丘ルリ子
米倉涼子
中村勘三郎
高岡早紀
堺正章
笹野高史
岸部一徳
長門裕之
富司純子

橋枝
橋七
多香子
美紀
小田先生
田所

バーの女
元鉄工所の社長
橋次
橋弥
橋鶴
志津子